

ひかしき 東木ひさよ



おれんじ通信 第33号

「誰ひとり取り残さない」地域社会へ。
新型コロナの第7波が到来し、日々ご相談対応に奔走しています。合わせて以前から「2040年へ将来の安心の暮らし」に向け取り組んできました。「ひとり親家庭の支援策」「障がい者支援」を中心とした災害時の対策、誰もが立ち寄り、つながりが出来る「居場所づくり」について報告します。



LINE

友達登録をよろしく
お願いいたします。



「離婚」で悩む時から、現実的かつきめ細かなサポートを。

「養育費」を受け取るために必要な手続き費用は、補助が受けられます！



「ひとり親」家庭のうち、養育費の取り決めをしている家庭は42.9%※1、そのうち、養育費を受け取っていない家庭の子どもの割合は69.8%※2に上ります。こうした背景を受け、今年度から養育費の取り決めに関する手続き費用や養育費の執行申し立てに必要な手続き費用は、市が補助することになりました。ひとり親の方の負担軽減と子どもたちが健やかに成長できる環境づくりのために。該当する方は、ぜひご活用ください。



藤沢市
ひとり親
家庭相談

※1、※2:厚生労働省 子ども家庭局家庭福祉課「平成28年度全国ひとり親世帯等調査結果報告」より引用。

「ひとり親」になる前から、家庭の状況に応じた柔軟な支援体制づくりに向けて。

アメリカでは子供たちへのケアに配慮する講座を受講しないと離婚の手続きも出来ない仕組みです。親の離婚に際し、子供たちへの心理的ケアを重視する「家庭のためのADRセンター」の講座受講へのご案内を提案し、今後相談者に情報提供されます。また「ひとり親向けリーフレット」の内容を、死別や未婚など場合にも配慮し、一人ひとりに寄り添う内容に改善することになりました。



災害時に「障がい者」の方をサポートできる地域づくりを。



30年以内にマグニチュード7程度の首都直下型地震が起こる確率は70%と言われています。特に障害者にとって不安が大きく、本来オーダーメイド型の支援が必要です。国から「個別避難計画」の作成が義務付けられています。実施の第一ステップとして、地域内での情報共有を提案しました。市では緊急時の対処用として「安全安心プラン」を今年度試験運用する、とのことです。

東木ひさよから「防災」に関する4つの提案。

- ①「ふじさわ防災ナビ」の情報をテーマ別にLINEで発信すること。
- ②自治会や老人クラブ、子育て支援センターで学べるように工夫する。
- ③「障がい者」を地域で支えるオーダーメイド型支援のために、民生委員や福祉関係者、協力者のネットワークづくりと情報共有システムの構築を！
- ④「障がい者」災害時支援の仕組みづくりに、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の積極的な関与を！

【キャンピングカーの協定を締結】

指定避難所では困難な要配慮者を優先します。車両のさらなる確保を推進します。



キャンピングカー「江ノ島号」の前で、
(株)ダイレクトカーズ百田社長と記念に。

「誰もが主役」。住民どうして手を携えて、次世代共生の藤沢のまちへ。

「つながりづくり」、「居場所づくり」を進めます。



新型コロナウイルス感染による行動制限により、人と人の絆やつながりが弱くなりました。孤立感を抱き、若年層の自殺が増えるなど深刻です。以前から、地域の各地に「緩やかな人のつながりと気軽に相談できる温かな居場所」づくりを推進してきましたが、今後さらにその重要性が増しています。住民の自発性を引き出すワークショップの開催や、民間団体や企業も巻き込むなど、多様な居場所づくりを推進します。※私も率先して地域の皆さまが繋がりあえる居場所づくりに挑戦しています。※住民主体で企画運営している団体をご紹介します。興味あるテーマを楽しみ、ご活用ください。

みんなの居場所 れいんぼ〜かふえ
@長後&御所見



ライン
LINE



「レインボースマイル湘南」が「長後」「御所見」「用田」の3ヶ所で「子育てサロン」や「みんなの食堂」など「おとなとこどもの居場所」を運営しています。

おれんじウェルネスCLUB



ライン
LINE



東木ひさよが毎月「石川市民の家」で主催する「健康教室」です。開催は毎月第4木曜日10時〜です。お申込やお問い合わせは東木のLINEまでお願いいたします。

湘南台アートスクエア
プロジェクト



フェイスブック
facebook



湘南台駅地下で毎月ストリートピアノイベントを開催しています。誰もが気軽に立ち寄り、音楽やアートで「心いやされ、心つながる居場所」を目指しています。

20年後も魅力ある「藤沢」であるために。地域づくりに新たな風を。

高齢化や担い手不足が深刻化している自治体や地域活動。若い世代の参入や新しい仕組みづくりなど「2040年の地域づくり」について、以下の提案をいたしました。

東木ひさよから「地域づくり」に関する4つの提案。



- ①公民館に福祉相談窓口や行政機能、デジタル支援窓口などの併設を！
- ②人口や広さを考慮した地区体制の見直しや市の政策への毎年の認知度・成熟度の調査を！
- ③市民参加型の「ワークショップ」の定期開催と参加者が地域活動に定着するための働きかけを！
- ④歴史ある地域の活動を刷新するために、多様なアイデアを取り入れ、地域に根ざした若い人材が参加・定着しやすい仕組みづくりを！

東木(ひかしき)ひさよプロフィール

藤沢市議会議員3期。北海道旭川市出身、北海道立旭川東高、明治学院大学卒。厚生環境・子ども文教常任委員会 委員長、建設経済・総務常任委員会 副委員長を歴任。R3、4年度 藤沢市議会監査委員。令和4年度子ども文教常任委員会、補正予算常任委員会委員、行政改革特別委員会委員。



LINE



Facebook

東木ひさよ
公式サイト



&



<http://higashiki.com>

政策の詳細はこちら➡



TEL

&

FAX

(0466)88-1125



hisayo2011@yahoo.co.jp